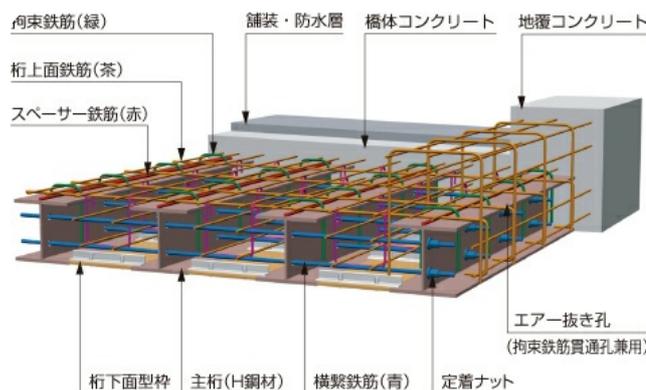


特長

イージースラブ橋とは…

簡単な加工（孔あけ）を施したH形鋼を並べて架設し、下フランジ間に桁下面型枠を設置し、腹板（Web）に設けた孔に横繫鉄筋を通してその両端をナットで留め、桁上面鉄筋等を配置して桁間にコンクリート打設して橋体を築造する複合構造（SRC構造）の橋梁です。



単純な構造

橋軸方向は、H鋼桁断面を鉄筋断面に換算し、RC断面として設計していますので構造が単純です。

低桁高を低コストで実現

低桁高の橋梁を低コストで実現できますので、都市部などでの低桁高が求められる箇所での橋梁に適しています。

多様な平面形状に対応

交差点付近の橋梁によく見られる複雑な平面形状（台形や隅切りなど）に対応可能です。

容易な施工、短い現場工期

現場架設に特殊技術をほとんど使用しないため施工が容易で、支保工が不要なので現場施工が短期間で済みます。

狭小箇所での施工

H鋼材を主桁として使用していますので、桁重量が軽量で桁の取扱いが容易です。狭小箇所での施工や架設現場までの道路事情が比較的悪い場合などにも適応性が高い工法です。



分割施工

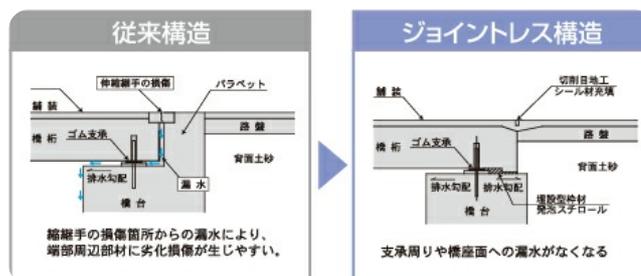
分割施工が可能のため、現道交通を切り替えながら施工することで、迂回路や仮橋を省略できます。

ミニマムメンテナンス

H鋼桁には「溶融亜鉛メッキ」や「アルミ亜鉛溶射」などの耐久性の高い防錆方法を採用していますので、メンテナンス費用が少なく済みます。

ジョイントレス構造

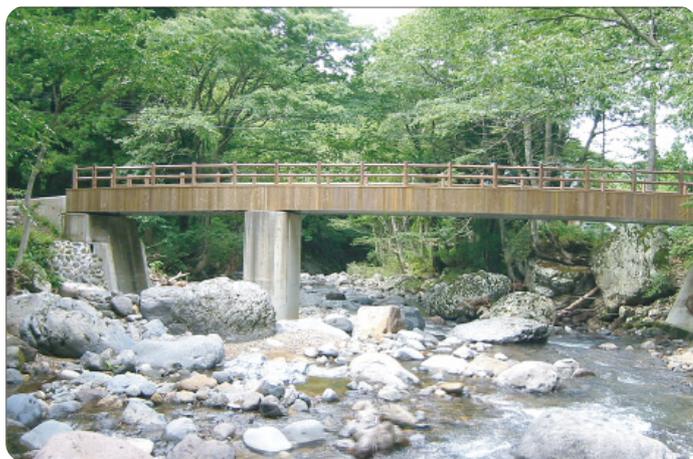
- 騒音や振動の防止
- 走行性の改善
- 漏水防止による耐久性の向上
- 建設コストの縮減
- 維持管理コストの縮



適用条件

最大支間長	20m程度
斜角	45°~90°

施工例



石川県小松市／久保橋上部工架替工事



石川県金沢市／太郎田橋上部工架替工事

